



発見！ はむらの スゴい人

こんなバンドほかにない！

ケムバンド

大正琴・ケーナ※・ウクレレという異色の組合せで構成されるバンド。メンバー3人の平均年齢は84.3歳。バンド名は3人の名前の頭文字から取った。令和元年から6年間、小作駅周辺で野外ライブを続ける。2年前にハーモニカとタップダンスも加わり、「KEM俱楽部」としても活動の幅を広げている。



→レードマークの帽子のイニシャルは木製で清水さんの手作り

A photograph of four elderly Korean men standing together outdoors. They are all wearing traditional Korean clothing, including dark jackets with colorful, patterned stoles and hats. The man on the far left is wearing a plaid shirt and a tan cap. The other three men are wearing dark jackets with red stoles and hats, with the man second from the left having a black hat with a white emblem, the man in the center having a red hat with a white emblem, and the man on the far right having a black hat with a red emblem. They are standing in front of a building with a tiled roof and some trees in the background.

(左から) 今村 征一さん(88)、清水 喜一さん(86)、秋山 栄造さん(85)、
土屋 昌康さん(82) (12月5日に行われた「題名のない認知症カフェ」
出演後の皆さん)

「KEMバンド」が、小作台西町内会で産声を上げたのは7年前。町内会行事の後、土屋昌康さんが「何か楽器を持つていたら音楽でもやらなさいか」と清水喜一さんと秋山栄造さんに提案したのがきっかけでした。最初は難色を示していた清水さんと秋山さん。しかし実は、清水さんは大正琴を習っていたことがあり、秋山さんも、なぜかケーナを持つていました。とりあえず1曲マスターし、秋山さんの奥さんには聞いてもらつたところ、「人に聞かせるならもつと練習が必要」と辛口のコメント。でも全否定ではなかつたことで、メンバーは俄然やる気に。それぞれ教室に通つたり自主練に励んだりして、技に磨きをかけるようになりました。大正琴の清水さんは彫刻が趣味。

動に夢中になり、雕刻をやめてしましました。「清水さんの家からはいつも大正琴の音色が聞こえる」と言われるくらい練習熱心です。ケーナの秋山さんは演奏のほかにMCも担当します。「落語家になりたかった」というだけあって、ユーモラスな喋りでお客さんを引き付けます。ウクレレ歴15年の土屋さんはアイデアマン。ライブの演奏曲リストも考えるプロデューサー的存在です。

レパートリーが3曲になった時、土屋さんが「人前で演奏したくなかった」と次の提案。小作駅前での路上ライブに踏み切りました。

「すごく人が集まるかも」と交番に相談したら、交通整理にお巡りさんが2人も来てくれたんだよね」と秋山さんはその時の様子を振り返ります。「だけどお客様は全然来ない(笑)。警察署や市役所には注意されちゃうし。でもその後、近くの工務店さんが駐車場を貸してくれました」小作駅周辺での野外ライブは6年間も続けました。

令和5年からは月に4回、高齢者施設で演奏会を行っています。施設では、開場30分前から待っている方、サインを求めてくる方もいるそうです。「僕たちにサインとか握手とか、驚きますよ。でも嬉しいもんですね」大広間で大人数のお客さんを前に演奏することも。さすがの秋山さんも「200人くらいのお客さんがいたとき

「は足が震えた」そうです。
2年前、5人になると補助金がも
らえると聞き、新メンバーいまわらを募集し
ました。新メンバーの今村いまむら征一さん
は若い頃からハーモニカが好きだつ
た逸材です。もう1人はタップダン
スの小倉おぐら勇さんいさむ。5人編成の
「KEM俱樂部」の誕生です。
「何事も続けることが大事ですね。
KEMの活動は我々の活力の源。人
とのつながりが広がりました」と秋
山さん。「このベストは、憧れのア
ンデス音楽のアーティストからのプ
レゼントなんです。小作駅前で一緒に
に演奏もしてくれました」。土屋さ
んは、KEMのファンの方に医者を
紹介してもらつて、大病を治療する
ことができたそうです。清水さんも
「妻を亡くして落ち込んでいた私が
元気になれたのも、KEMの活動と
支えてくれる人がいたから」と笑顔
を見せます。

今ではレパートリーは65曲を超
ました。なぜ「音楽」なのか、土屋
さんに尋ねたところ「羽村市では必ず
と『音楽のあるまちづくり』に取り
組んでいますよね」との答え。「この
人はこういうところもすごいんだよ」
とほかの3人がうなずき合います。

KEMの活動はまだまだ続きます。
「90歳を目指して活動を続けます。
黒柳徹子さんのお知り合いの方がい
たら、ぜひ紹介してください!」

支えてくれる人がいたから」と笑顔を見せます。今ではレパートリーは65曲を超えるました。なぜ「音楽」なのか、土屋さんに尋ねたところ「羽村市ではずつと『音楽のあるまちづくり』に取り組んでいますよね」との答え。「この人はこういうところもすごいんだよ」とほかの3人がうなずき合います。KEMの活動はまだまだ続きます。「90歳を目指して活動を続けます。『黒柳徹子の部屋』に出るのが夢なので、黒柳徹子さんのお知り合いの方がいたら、ぜひ紹介してください!」

「2年前、5人になると補助金がもらえる」と聞き、新メンバーを募集しました。新メンバーの今村征一さんは若い頃からハーモニカが好きだった逸材です。もう一人はタップダンスの小倉勇さん(72)。5人編成の「KEM俱樂部」の誕生です。「何事も続けることが大事ですね。KEMの活動は我々の活力の源。人とのつながりが広がりました」と秋山さん。「このベストは、憧れのアンデス音楽のアーティストからのプレゼントなんです。小作駅前で一緒に演奏もしてくれました」。土屋さんは、KEMのファンの方に医者を紹介してもらつて、大病を治療することができたそうです。清水さんも「妻を亡くして落ち込んでいた私が、

はむら

愛情ギュッとす~っとはむら